

# JF-GJS フェローシップ・プログラム募集要項

## JF-GJS Fellowship Program

### Application Guidelines and Instructions

\* English instructions start on page 9.

#### 1 趣旨

国際交流基金（以下「JF」と略記）と東京大学東洋文化研究所（以下「東文研」と略記）が共同して運営するフェローシップ・プログラム。海外における日本研究を振興するため、日本について調査研究しているポスト・ドクトラル研究者を日本に招へいし、東文研にて滞在研究する機会を提供するとともに、研究会などの運営管理業務への従事によりプロジェクト・ファシリテーターとしての経験を積み、もって内外関係者とのネットワーク形成・拡充を図ることを目的としています。

#### 2 対象となる研究

「アジアの中の日本、日本の中のアジア」を包括テーマとし、日本をアジアの文脈から捉え直す研究（人文・社会科学分野の手法を用いて行われる研究に限ります）。

#### 3 招へい期間と招へい予定人数

2025年9月1日から2026年3月1日までに来日し、6か月以上で最長24か月間、継続して滞日可能な研究者を若干名（3名程度）招へいする予定です。

#### 4 応募資格

(1) 応募者は、以下の全てに該当している必要があります。

- ア 応募時点において博士の学位を有し、かつ、2025年4月1日時点で博士の学位取得後6年未満の者（常勤的職に就いているか否かは問いません）。
- イ 日本と国交がある国の国籍又は永住権を有している者（台湾の方も応募可能です）。
- ウ 日本での活動に支障のない健康状態にあり、日本語又は英語での研究活動及びコミュニケーションが可能である者。
- エ フェローシップの期間を通して日本に継続滞在することが原則として可能である者。

(2) 上記にかかわらず、以下のいずれかに該当する者は応募資格を有しません。

- ア 自然科学・医学・工学分野を対象とする者。
- イ 政治的・宗教的な目的のために本フェローシップを利用しようとする者。
- ウ 日本語の習得又は産業関連の技術習得を目的とする者。
- エ 日本語教材の制作を目的とする者。
- オ 芸術・伝統文化（茶道、華道等）の研修を主たる目的とする者。
- カ 同時期に訪日のための旅費・滞在費が含まれる他のフェローシップ・奨学金・研究助成金等を受給する者。
- キ 2025年4月1日から遡って1年以上継続して日本に滞在する者。
- ク JFが募集する他の招へいプログラムに申請する者（ただし、JFの「日本研究フェローシップ<学者・研究者（長期）>」プログラムについてのみ、同プログラムの申請資格を満たす限りにおいて、重複申請が可能です）。

#### 5 支給内容

(1) 1回のみの支給

- ア 往復航空券：居住地・日本間の合理的な経路によるディスカウント・エコノミークラス（フェローシップ期間の開始前から日本に滞在している場合には、終了日の帰国に係る片道航空券のみを支給）
  - イ 渡日一時金：250,000 円（フェローシップ期間の開始前から日本に滞在している場合には、原則として渡日一時金を支給しません）
  - ウ 帰国一時金：50,000 円（フェローシップ期間の終了後も日本に滞在する場合には、原則として帰国一時金を支給しません）
  - エ 保険：一律の基準にて JF が海外旅行保険を付保
- (2) 毎月の支給
- ア 滞在費：400,000 円
  - イ 随伴扶養家族加算金：10,000 円/人

## 6 受入機関（東文研）

- (1) 受入機関内の施設・設備を使用するとともに、受入機関の研究者による研究協力や情報交流などを通じ、滞日研究活動を行います（在留資格「教授」での活動を予定）。
- (2) 受入教員については、専門分野、研究テーマ等を勘案した上で、採用者決定時に東文研が指定します。
- (3) 研究において必要がある場合は、来日後、受入教員と相談した上で、受入機関以外の研究機関や研究者との研究交流も行うことは可能です。ただし受入機関を変更することは認められません。
- (4) フェローシップ期間終了後、JF-GJS Affiliates 2025 という身分が付与されます。この身分を活用し、今後とも東文研と連携した各種研究活動に参加することが期待されています

## 7 選考方針

選考に際しては、次の点を重視します。

- ・ 研究目的が明確で、研究テーマに妥当性があり、東文研において研究を遂行する必要性が認められること。
- ・ 自らの研究を遂行するだけでなく、東文研において諸外国との研究交流事業の企画・運営に積極的に参加する意思や具体的なアイデアを有すること。
- ・ 日本での滞在研究成果の還元・普及が期待できるとともに、将来的に日本との研究交流の中核的人材となることを期待されること。

## 8 応募方法

応募様式データをダウンロードし、入力・署名を終えたデータを r\_info@jpf.go.jp宛添付ファイルとして2024年12月1日（日本時間）までに送信してください。ただし、ロシアからの応募に関しては、国際交流基金モスクワ日本文化センターに予めご連絡の上、その指示に従い紙媒体（原本1部+コピー1部）でご提出ください。



2nd\_JF-GJSFW\_  
Form.docx

※手順（ロシアからの応募を除く）

- ・ 応募者が応募様式をダウンロード。推薦者入力部分を除き、応募者が入力。
- ↓
- ・ 応募者が入力した応募様式データを添付して推薦書の作成・提出を推薦者に依頼。
- ↓
- ・ 応募者、推薦者、それぞれから r\_info@jpf.go.jp宛に入力済のデータをメール添付送信。

### ※留意事項

- ・ 受領書類は一切返却しません。
- ・ 複数の書類を受領した場合には、締切日までに受領した最新のもの以外、原則として審査対象とはしません。

## 9 選考方法及び選考結果通知

JF と東文研が共同して選考します。

### (1) 第一次選考：書類審査

- ア 提出された書類により選考を行います。
- イ 第一次選考合格者に対してのみ、2025年1月15日までに、第二次選考に関するご案内メールを送信します。
- ウ 第一次選考の可否の問い合わせには、2025年1月16日までは回答できません。

### (2) 第二次選考：オンライン面接

- ア 第一次選考合格者に対し、2025年1月下旬に1人あたり20分程度のオンライン面接を実施します。
- イ オンライン面接は日本時間を基準に実施します。時間帯設定が不調に終わった場合は、面接辞退とみなします。また、設定された時間帯での面接に応じられなかった場合も、面接辞退とみなすことがありますので、ご注意ください。
- ウ 第二次選考の結果は2025年4月1日までにメールでお知らせします。
- エ 第二次選考の可否の問い合わせには、2025年4月2日までは回答できません。

### (3) 選考過程や選考理由に関するお問い合わせには一切応じられません。

## 10 注意事項

- (1) フェローシップは日本国内での滞在期間に対して供与します。フェローシップ供与期間を延長することはできません。
- (2) 採用されたフェローは、東京大学インターナショナル・ロッジの入居申請を行うことが可能となります（入居が確約されるわけではありません。またJFは住居の紹介を行いません）が、入居費・施設使用料等の費用については、フェロー本人の負担となります。
- (3) フェローシップ開始日の変更は原則として認められません。やむを得ない事情により変更せざるを得なくなった場合には、事前にJF及び東文研に対し理由を説明し、その承認を得る必要があります。
- (4) 訪日のための旅費・滞在費が含まれる他のフェローシップ、奨学金、研究助成金等を同時期に受給することは出来ません。受給期間が重複している場合は、いずれか一つを選択する必要があります。他のフェローシップ、奨学金、研究助成金等の受給により国際交流基金への応募を取り下げる場合には、選考結果通知前であっても、速やかに [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp)宛メールにて連絡してください。

## 11 同意事項

本プログラムの応募者は、以下の事項に同意したものとみなします。

### (1) 採用受諾者（フェロー）の義務

- ア フェローは、フェローシップ期間中、日本の受入機関である東文研での活動に専念していただきます。
- イ フェローは、フェローシップ受給期間中に広報媒体で紹介される場合には、原則として、JF-GJSフェローとして来日中であることを明示していただきます。
- ウ フェローは、定期報告書及び最終報告書をJFに提出していただきます。また、フェローシップ受給期間後に得られた成果物（論文等）がある場合には、その情報をJFにも共有していただきます。
- エ 補助金等の受給や使用に関して不正行為があったときは、補助金等の交付取消や返還命令（含む加算金）、その他の一定期間の応募資格停止等の措置をとり、場合によっては刑事罰が課される

ことがあります（「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」（昭和30年法律第179号）参照）。

## (2) 事業に関する情報の公開

- ア 採用された場合、応募者・団体の名称、事業の概要等の情報は、JF及び東文研の事業実績、年報、ウェブサイト等において公表されます。
- イ 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）に基づく開示請求がJFに対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された応募書類は開示されます。
- ウ JF及び東文研に提出された成果物などは、JF及び東文研の事業の広報のため、公開することがあります。

## (3) 個人情報の取扱い

### ア 適用法の遵守

JF及び東文研は、適用を受ける限りにおいて「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）（以下「法」という。）、関連する政省令、及び個人情報保護委員会又は同委員会が権限を委任した機関が定める各種ガイドラインのほか、「EU一般データ保護規則（以下「GDPR」という。）」、「中華人民共和国個人情報保護法」及び関連法令（以下「中国法」という。）、その他各国・地域等の個人情報保護にかかわる法律を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。

JFの個人情報保護への取組（プライバシーポリシー）については、以下のウェブサイトをご覧ください。

（法関連）（和）<https://www.jpff.go.jp/j/privacy/>（英）<https://www.jpff.go.jp/e/privacy/>  
 （GDPR関連）<https://www.jpff.go.jp/e/privacy/index.html#gdrp>  
 （中国法関連）[https://www.jpffbj.cn/jp/personal\\_information/](https://www.jpffbj.cn/jp/personal_information/)

### イ 個人情報の取得

JF及び東文研は、応募者から、応募書類・添付書類、及び事業報告書・成果物等（以下「事業資料」という。）を通じて、以下の個人情報（以下「個人情報」という。）を取得することがあります。また、JF及び東文研は、一般に公開されたウェブサイトを通じて応募者の個人情報を取得することがあります。

#### 【応募者に関する基礎的な情報】

氏名、生年月日、国籍、永住権、性別、勤務先、職業及び職務、自宅住所、郵便番号、電話番号（携帯電話を含む）、FAX番号、Eメールアドレス、ID番号、パスポート番号、家族構成、家族の氏名、家族の生年月日、家族の国籍、家族の性別、家族の住所、家族の職業、本プログラムにおいて又は本プログラム前に撮影された写真等

#### 【応募者の経歴や能力に関する情報】

履歴書（学歴及び職歴を含む）、主な業績、外国語能力、国外居留歴、国外居留計画及び居留期間の連絡先等

#### 【応募者のセンシティブデータ】

既往症、健康診断結果、その他健康に関する情報、銀行口座情報等の個人データ

※ JF及び東文研は、応募者から、その家族に関する個人情報を取得することがありますが、その際、応募者は、必ず家族の方から本「個人情報の取扱い」の内容について同意を得たうえで、JF及び東文研に提供するものとします。

### ウ 個人情報の利用目的・利用期間

（ア）JF及び東文研は、応募者から取得した個人情報を、当該応募者及びその家族による同意に基づき、審査、選考結果通知、事業実施、事後評価、採用者に対する諸連絡その他一切の応募者及び採用者管理の目的（以下「利用目的」という。）のために利用します。

（イ）応募者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、JF及び東文研

の事業の適正かつ円滑な運営のために、JF 及び東文研の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成、今後の JF 及び東文研の事業の策定に利用されます。

(ウ)(イ)の情報に加え、応募者の連絡先（住所、E メールアドレス、電話番号）は、事業終了後に本件事業に関するフォローアップのためのアンケート依頼、他の JF 及び東文研事業についてのご連絡、今後の JF 及び東文研の事業策定のための情報提供依頼等のために利用されます。

(エ) JF 及び東文研は、上記の利用目的達成に必要な期間、応募者及びその家族の個人情報を取り扱います。

#### エ 個人情報の提供

(ア) JF 及び東文研は、応募者から取得した個人情報を必要最低限の範囲で以下の機関等に提供することがあります。提供先には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています

- a 日本国在外公館（大使館・総領事館等）及び日本国外務省（査証手配、安全管理上の対応、事業の実施支援等のため）
- b 航空会社、保険会社及びその代理店等（海外旅行傷害保険加入等のため）
- c 外部有識者等の評価者（採否審査、事後評価等のため）
- d 報道機関や他団体（事業の広報のため）
- e その他事業の必要性に応じて情報を受領するその他団体又は個人

(イ) JF 及び東文研は、応募者の健康診断結果や健康情報を、出入国手続き、海外旅行保険への加入及びその請求、出入国後の健康管理や安全管理のために、医療機関や医療従事者、保険会社、研修協力機関又は個人（ホストファミリーを含む）、関係官庁に提供する場合があります。

(ウ) JF 及び東文研は、行政機関、他の独立行政法人、地方公共団体又は地方独立行政法人（以下「行政機関等」という。）が法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で利用する場合で、かつ、その利用に相当な理由のある場合、応募者から取得した個人情報を、行政機関等に対し提供する等、法第 69 条第 2 項に基づき、上記に記載する利用目的以外の目的のために利用又は提供することがあります。

#### オ 個人情報の越境移転

(ア) JF 及び東文研は、応募者から取得した個人情報を、上記の利用目的のため、JF 本部及び東文研を含む日本その他の国又は地域にある拠点に移転して取り扱うことがあります。JF 及び東文研は、当該国又は地域において、個人情報を適切に管理します。

(イ) 前項に定める場合のほか、JF 及び東文研は、事業の必要性に応じて、法令に定められた条件を満たす場合にのみ、応募者から取得した個人情報を、上記の利用目的のため、日本その他の国又は地域にある必要な団体又は個人に提供することがあります。

#### カ 個人情報の安全管理

JF 及び東文研は、適切な安全管理対策と管理手段を講じて、応募者の個人情報に対する不正アクセスや漏えいの防止に努めます。

#### キ 応募者の個人情報に係る権利

応募者は、法、GDPR、中国法その他各国・地域等の個人情報保護にかかわる法律が適用される限りにおいて、自らの個人情報へのアクセス、不正確な個人情報の訂正、個人情報の利用停止等の権利を有します。

#### ク 個人情報の取扱いに対する異議申立て

応募者は、JF 及び東文研における個人情報の取扱いに不満がある場合には、適用を受ける法令で認められる限りにおいて、JF 及び東文研に対して異議を述べることができます。また、応募者は、適用を受ける法令に従い、応募者の属する国の個人情報保護を管轄する当局に対して異議申立てをすることができます。

#### ケ 事業関係者の個人情報

応募者から提出を受けた応募者以外の事業関係者の個人情報についても、上記ア～クの取扱いとなりますので、応募者より事業関係者に事前にご説明の上、同意を得ていただくようお願いいたします。

コ 連絡窓口

本「個人情報の取扱い」に係るご意見・疑問点等は、「12 問合せ先」記載の連絡先にお寄せください。

サ 同意の撤回

応募者は、本「個人情報の取扱い」への同意をいつでも撤回する権利があります。同意の撤回は、撤回前の個人情報の取扱いの適法性に影響を与えるものではありません。また、同意しない場合、又は同意を撤回した場合には、JF 及び東文研から必要な情報・サービスの提供を受けることができなくなる可能性があります。

- (4) 感染症の流行状況等により、関係当局が発する規制や指示等を踏まえた対応が必要となる可能性につき十分ご留意願います。また、JF 及び東文研は、フェローとして採用する旨の通知を行った後であっても、やむを得ず、フェローシップの期間変更や、一定の条件を付すなどの要請を行う場合があります。

(5) 事業実施上の安全確保

テロ事件など、世界的に安全に対する懸念が高まっていることから、事業の実施に際しては、次のような安全対策を講じ、安全確保に努めていただけるよう、強くお願いしています。

ア 事業実施地の安全・危険情報を積極的に収集するようにしてください。

イ 関係者にも安全・危険に関する情報を共有するようにしてください。

## 12 問合せ先

窓口となる JF 日本研究部内の「JF-GJS フェローシップ担当」宛にメールでご連絡ください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4

独立行政法人国際交流基金日本研究部内 JF-GJSフェローシップ担当

Email: r\_info@jpf.go.jp

## 応募書類作成上の注意

### ※ 全般的な注意事項

- (1) JF-GJS フェローシップ・プログラムへの応募に際しては、以下の書類が必須となります。
  - ア 応募書類（所定様式。応募者が作成し、署名後、JF-GJS フェローシップ担当宛に提出）
  - イ 推薦書 2 通（所定様式。応募者から依頼された推薦者が作成し、署名後、JF-日文研プログラム担当宛に提出）
- (2) 募集要領及び以下の応募書類等記載要領をよく読んで、必要事項を漏れなく記入してください。これらに定められた規則に反した場合（書類不備等）や応募書類冒頭の日付や署名が欠けている場合などは選考の対象とならない場合があります。
- (3) 応募書類は日本語又は英語で記入してください。それ以外の言語で記入した応募書類は受理しません。

### ※ 応募書類

#### 1 応募概要

- (1) 応募者氏名・敬称・生年月日：該当する欄に印をつけた上で、氏名を記入してください。ローマ字（パスポート表記）記入は必須で、漢字表記の氏名を有する応募者は漢字でも記入してください。生年月日は西暦で記入してください。
- (2) 国籍及び現住所国・地域：複数国籍を有する場合は全て記入してください。また、現住所国・地域には（一時的滞在場所ではない）自宅の所在国・地域名を記入するとともに、永住権の有無についても該当する欄に印をつけてください。
- (3) 現職及び専門分野：応募書類作成時点における所属機関と役職、応募者の専門分野を記入してください。
- (4) 希望する開始日及び期間：希望する開始日（2025 年 9 月 1 日から 2026 年 3 月 1 日までの間）と希望する滞日期間月数（6 か月以上 24 か月以下の整数）を記入してください。

#### 2 応募者情報

- (1) 現住所等：一時滞在场所ではない自宅住所や私的 email アドレスなどの連絡先情報を記入してください。2025 年 4 月の選考結果通知に支障が生じないよう、応募書類提出後に変更があった場合は、応募書類提出先にその旨を連絡してください。
- (2) 所属先住所等：所属先の住所や email アドレスなどの連絡先情報を記入してください。
- (3) 経歴：学位、職歴、受賞歴につき、それぞれ記入してください。職歴及び受賞歴については、最新のものから遡って記載してください。また、詳細経歴書があれば、それも添付してください。
- (4) 推薦者の情報：依頼した先の氏名、連絡先 email（又は電話番号）、及び依頼日を記入してください。
- (5) 言語能力：日本語能力と英語能力につき、それぞれ該当する欄に印をつけてください。
- (6) 他プログラムへの応募状況：他の奨学金に応募している場合は、その名称、受給（要請）期間及び結果の発表（予定）日を記入してください。
- (7) 日本滞在歴：JF の招へいによる来日経験を有する場合は、期間の長短に関わらず、全て記入してください。JF の招へい以外で日本に滞在したことがある場合（観光等ごく短期の旅行は除きます）には、その期間、目的を記入するほか、奨学金などを受けていた場合にはその名称を記入してください。

#### 3 プロジェクト情報

- (1) 研究対象分野・関連キーワード：対象としている分野及び関連キーワードを記入してください。
- (2) プロジェクト概要：枠内に記載されている各項目にそってプロジェクトの概要を 2 頁以内で記入してください。研究方法と研究計画に関しては、タイムラインも示した上で、自国ではなく日本にその期間滞在しなければならない理由がわかるように記述してください。

- (3) 研究やキャリアの中長期的な展望：中長期的な視点から研究やキャリアにおける応募者の将来展望について記入してください。
- (4) 関連業績：応募者の主要業績として、応募プロジェクトに関連する著作・発表等のタイトル及び発表年月などを10件程度記入してください。
- (5) 受入機関（東文研）での研究遂行必要性：東文研で研究をする必要性や優位性を記述してください。
- (6) 東文研の国際研究交流への貢献：滞日中、東文研の国際研究交流に貢献する点を記述してください。また、自身の研究に関連した具体的な交流の企画があればそれも記入してください。

## ※ 推薦書

- (1) 応募者は、研究計画遂行能力について評価できる人物2名に所定の様式による推薦書の作成・提出を依頼してください。2名のうち、1名は応募者の研究指導教員又は所属機関上司、もう1名は日本の機関（JFを除く）に所属している推薦者としてください。
- (2) 推薦書の上段太線枠内は、依頼に先立ち、応募者があらかじめ記入した上で、記入・署名した推薦書を2024年12月1日必着で提出するよう、推薦者に依頼してください。



## 1. PURPOSE

In order to promote Japanese Studies overseas, this program, jointly organized by the Japan Foundation (hereinafter referred to as “JF”) and the Institute for Advanced Studies on Asia of the University of Tokyo (hereinafter referred to as “Tobunken”), provides post-doctoral researchers in the field of Japanese Studies with opportunities to conduct research in Japan while belonging to Tobunken. The Fellows will also be expected to gain experience as project facilitators through operation and management work at various meetings or workshops, and to form and expand networks with people involved in international exchange.

## 2. ELIGIBLE TYPES OF RESEARCHES

With the overall theme of “Japan in Asia, Asia in Japan,” eligible research themes are those that reinterpret Japan from the context of Asia in the fields of the humanities and the social sciences.

## 3. EXPECTED NUMBER OF FELLOWS AND PERIOD OF STAY IN JAPAN

A few (about three) Fellows will be invited to stay continuously in Japan for from over 6 months to a maximum of 24 months. The proposed commencement date for a Fellowship must fall between September 1, 2025 and March 1, 2026.

## 4. ELIGIBILITY

(1) All of the following criteria must be met:

- a. Applicants must hold a Ph.D. degree at the time of application, and have received their Ph.D. within six years (regardless of their job status) as of April 1, 2025;
- b. Applicants must hold nationality or lawful permanent resident status in countries that have diplomatic relations with Japan (Taiwanese applicants, including permanent resident of Taiwan, are eligible to apply);
- c. Applicants must be in good health and proficient in either Japanese or English;
- d. In principle, applicants must be able to stay continuously in Japan for the term of Fellowship.

(2) Individuals meeting any of the following conditions are not eligible to apply:

- a. Researchers in the natural sciences, medicine, or engineering;
- b. Those who intend to use the Fellowship program for political or religious purposes;
- c. Those who primarily intend to enhance Japanese-language ability or technical skills;
- d. Those who intend to develop and/or produce Japanese-language teaching materials;
- e. Those who intend to acquire artistic training in the area of Japanese traditional culture (tea ceremony, flower arrangement, etc.);
- f. Those who plan to receive other grants covering expenses for travel to and accommodation in Japan concurrently with the Fellowship;
- g. Those who have been in Japan continuously for more than a year dating back from April 1, 2024;
- h. Those who apply for any other JF’s invitation program, excluding the “Japan Foundation Japanese Studies Fellowship Program [Scholars and Researchers (Long-Term)]”.

## 5. BENEFITS

(1) Benefits Provided Once

- a. International Air Ticket: Round-trip discount economy-class airfare (the most direct route). Fellows already in Japan before the commencement of the Fellowship will receive only a one-way ticket for their return flight.
- b. Settling-in Allowance: JPY 250,000 (In principle, this allowance is not applicable to Fellows who are already residing in Japan on the beginning date of the Fellowship.)
- c. Departure Allowance: JPY 50,000 (In principle, this allowance will not be provided to Fellows who stay in Japan after the termination of the Fellowship.)
- d. Insurance: Overseas traveler’s insurance policy

(2) Monthly Benefits

- a. Monthly Stipend (covering living and research expenses): JPY 400,000

b. Dependent Allowance: JPY 10,000 per certified person

## 6. AFFILIATED INSTITUTION IN JAPAN (Tobunken)

- (1) The Fellows' research activities in Japan will be conducted at Tobunken as their affiliated institution in Japan (the residential status for foreign Fellows in Japan is planned to be "Professor" throughout the term of their Fellowship).
- (2) The host advisor/research associate will be designated by Tobunken when selecting the successful applicants, taking into consideration their field of expertise, research theme, and other factors.
- (3) After consultation with the host advisor/research associate at Tobunken, Fellows may, when necessary, engage in research activities with other research institution(s) in addition to Tobunken. Changing the host institution in Japan, however, is not permitted.
- (4) Fellows will be awarded the status of JF-GJS Affiliates 2025 after the term of Fellowship is over. They are expected to participate in some research activities in collaboration with Tobunken by utilizing this status.

## 7. SELECTION POLICY

The following points will be emphasized in the selection process.

- The purpose and goal of research are clear, the theme of the research is appropriate, and the need to conduct research at Tobunken can be recognized.
- In addition to conducting their own research, all Fellows are expected to be willing to actively participate in the planning and management of research exchange projects with other countries at Tobunken and to contribute concrete ideas.
- The results of the research conducted in Japan can be expected to be disseminated during and after the Fellowship period. In addition, each Fellow is to be expected to play an important role in the field of research exchange with Japan in the future.

## 8. APPLICATION PROCEDURES

Download the application form data, fill out the downloaded form, and then email the completed and signed form as an attachment to [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) by December 1, 2024, in Japan Standard Time. However, for applications from Russia, please contact the Japan Foundation, Moscow (Russia) in advance and submit in paper form (one original and one copy) according to their instructions.



2nd\_JF-GJSFW\_  
Form.docx

### \* Steps (excluding for applications from Russia)

- Applicants download the data of the above application form and fill in the form, except for the part for their recommenders.  
↓
- Applicants send the filled-in application form to their recommenders asking them to fill out their part on the recommendation form.  
↓
- Each the applicant and the recommender sends the completed and signed data to [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) as email attachments.

### \* Notes

- The submitted documents received will not be returned.
- In the event that multiple data or documents are received, only the latest one(s) received by the deadline will be considered.

## 9. SELECTION PROCEDURES AND RESULTS NOTIFICATION

JF and Tobunken will jointly screen the applicants.

### (1) Preliminary round of selection: document review

- a. Selection will be made based on the submitted documents.
- b. Applicants who pass this preliminary round of selection will receive an email invitation to the second round of selection by January 15, 2025.
- c. Inquiries regarding the results of the preliminary round of selection will not be answered until January 16, 2025.

### (2) Second round of selection: online interview

- a. Online interviews of approximately 20 minutes will be conducted in late January 2025 for those who pass the preliminary round of selection.
- b. The online interview will be conducted based on Japan time. If the interview schedule cannot be set, the interview will be considered declined. Please note that failure to respond to the interview during the arranged time slot may also be considered as an interview decline.
- c. The results for the second round will be announced by April 1, 2025 by email.
- d. Inquiries regarding the results of the second round will not be answered until April 2, 2025.

- (3) Neither the reason for the results, nor the status of any application during the screening process, can be discussed.

## 10. POINTS TO BE NOTED

- (1) The Fellowships are tenable only in Japan. No extension of the duration of the Fellowship can be allowed for any reason whatsoever.
- (2) Fellows will be able to apply for accommodations at the International Lodge of the University of Tokyo. (Move-in is not guaranteed. JF will not provide housing referrals.) Fellows will be responsible, however, for their own housing and facility rental costs.
- (3) In principle, no change in the commencement date of the Fellowship will be allowed. If Fellows must change their commencement date due to unavoidable circumstances, they must explain the reason beforehand and obtain the approval by both JF and Tobunken.
- (4) If a successful applicant is offered any other grant or fellowship that covers expenses for travel to, and accommodation in, Japan whose duration overlaps with that of JF-GJS Fellowship, they must decline either the JF-GJS Fellowship or the other grant/fellowship for the overlapping period. When applicants decide to withdraw their applications, please notify JF promptly by email at [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp), even if it is before you have received the screening results.

## 11. Terms of Agreement

By applying to this program, the applicant will be deemed to have agreed to the following statements:

### (1) Obligations of Fellows

- a. Fellows are expected to devote their full time to their activities at Tobunken in Japan.
- b. In the case of being mentioned in the media during the Fellowship period, Fellows are, in principle, to specify that they are in Japan on a JF-GJS Fellowship.
- c. Fellows are to submit quarterly reports during the Fellowship period and a final project report. In addition, Fellows are to share information on the outcome of the project, i.e., deliverables such as books or reports, with JF and Tobunken.
- d. Committing any form of fraud with regard to JF subsidies, etc., could result in penalty measures such as a revocation of the decision to provide Fellowships in whole or in part, the required return of benefits including additional charges, late payment charges, suspension of the applicant's eligibility to apply for a grant for a certain period of time, and/or other legal actions (Ref. "Act on Regulation of Execution of Budget Pertaining to Subsidies, etc." (Act No. 179 of 1955)).

### (2) Disclosure of information on the project

- a. If the project is selected, the information such as the name of the applicant/organization and the outline of the project will be made public in JF and Tobunken's detailed annual reports, the

- Annual Report, on the JF and Tobunken’s website and in other public relations materials.
- b. When JF receives a request for disclosure of information in accordance with the “Act on Access to Information Held by Incorporated Administrative Agencies” (Act No. 140 of 2001), application forms submitted to JF, except for non-disclosure information stipulated in such act, will be disclosed.
  - c. There may be cases in which project reports, deliverables, and other related publications are released to the public for JF and Tobunken’s publicity purposes.
- (3) Handling of personal information
- a. Compliance with applicable laws  
To the extent applicable, JF and Tobunken will comply with the “Act on the Protection of Personal Information” (Act No. 57 of 2003) (the “Act”), relevant cabinet and ministerial orders, various guidelines stipulated by the Personal Information Protection Commission or other organizations to which the Personal Information Protection Commission has delegated authority, the “EU General Data Protection Regulation (the “GDPR”),” the Personal Information Protection Law of the People’s Republic of China and related laws and regulations (the “Chinese Laws”), and other laws and regulations in relation to protection of personal information in relevant countries and regions, etc., and when handling any personal information, JF and Tobunken will properly collect, use and control the same. For more information on the JF and Tobunken’s efforts to protect personal information (privacy policy), please visit the following websites:  
(Related to the Act): (Japanese) <https://www.jpfi.go.jp/j/privacy/>  
<https://www.nihu.jp/sites/default/files/regulation/kx-3.pdf>  
(English) <https://www.jpfi.go.jp/e/privacy/>  
(Related to the GDPR): <https://www.jpfi.go.jp/e/privacy/index.html#gdpr>  
(Related to the Chinese Laws): [https://www.jpfbj.cn/jp/personal\\_information/](https://www.jpfbj.cn/jp/personal_information/)
  - b. Acquisition of personal information  
JF and Tobunken may acquire the following personal information (the “Personal Information”) from the applicants through the application forms, attachments, project reports, deliverables, etc. (the “Project Materials”). In addition, JF and Tobunken may acquire the applicants’ Personal Information through publicly available websites.  
[Basic information of applicants]  
Name, date of birth, nationality, permanent residence, gender, place of employment, job and work duties, home address, postal code, telephone number (including mobile phone number), fax number, email address, ID number, passport number, family structure, names of family members, dates of birth of family members, nationalities of family members, genders of family members, addresses of family members, jobs of family members, photographs taken during or prior to the program, etc.  
[Information on applicants’ educational background, career history and abilities]  
Resume (including educational background and career history), major achievements, foreign language proficiency, overseas residence history, overseas residence plan, contact information during the residence period, etc.  
[Sensitive data on applicants]  
Personal data such as medical history, medical examination results, other health-related information and bank account information
  - \* JF and Tobunken may acquire the Personal Information of the applicant’s family members from the applicant. On such occasion, the applicant must obtain consent from his/her family members regarding the content of this “Handling of personal information” section before providing such Personal Information to JF and Tobunken.
  - c. Purposes of use and period of personal information
    - (a) Based on the consent of the applicant and his/her family members, JF will use the Personal Information acquired from the applicant for screening, notification of screening results,

- implementation of the project, post-evaluation, communication to successful applicants and for any and all other purposes for management of applicants and successful applicants (the “Purposes of Use”).
- (b) For the proper and smooth operation of JF and Tobunken projects, any information such as the applicants’ names, genders, jobs, titles, affiliations, project periods, project content, etc. will be: posted on published materials, such as JF and Tobunken’s detailed annual reports, the annual report and JF and Tobunken’s website; used for preparation of statistics materials; and used for formulation of future JF and Tobunken projects.
  - (c) In addition to the information specified in (b) above, the applicants’ contact information (i.e., address, email address and phone number) will be used to: request the applicants to answer questionnaires as follow-up to the project after completion thereof; provide a notice regarding other JF and Tobunken projects; request the applicants to provide information for formulation of future JF and Tobunken projects, and so on.
  - (d) JF and Tobunken will handle the Personal Information of the applicants and their family members for the period necessary to achieve the Purposes of Use stated above.
- d. Provision of personal information
- (a) JF and Tobunken may provide the Personal Information acquired from the applicants to the following organizations, to the minimum extent necessary. JF and Tobunken will make sure that the recipients take measures to ensure the security of the Personal Information.
    - i. The Ministry of Foreign Affairs of Japan, Embassies or Consulates-General of Japan, etc. (for arrangement of visas, handling of security control, support for project implementation, etc.)
    - ii. Airlines, insurance companies and the agencies thereof, etc. (for procurement of overseas travel accident insurance, etc.)
    - iii. Evaluators such as outside experts, etc. (for screening, post-evaluation, etc.)
    - iv. News media and other organizations (for public relations for the projects)
    - v. Other organizations and individuals who receive the information as needed for the projects
  - (b) The applicant’s medical examination results and health information may be provided to medical institutions, medical professionals, insurance companies, organizations or individuals who provide cooperation for training (including host families) and relevant government agencies for immigration procedures, procurement of overseas travel insurance and claims therefor, and health care and safety control after entry into or departure from Japan.
  - (c) The Personal Information acquired from the applicants may be used or provided for purposes other than those specified in the Purposes of Use, in accordance with Article 69, Paragraph 2 of the Act, such as providing such Personal Information for administrative organs, other incorporated administrative agencies, local public entities or local incorporated administrative agencies (the “Administrative Organs”) as long as the Administrative Organs use the same within the scope necessary to conduct the affairs or services prescribed by applicable laws and regulations and where there is a reasonable ground for such use.
- e. Cross-border transfer of personal information
- (a) JF and Tobunken may handle the Personal Information acquired from the applicants by transferring the same to the base located in Japan (including JF headquarters and Tobunken) or other countries or regions for the Purposes of Use specified above. JF and Tobunken shall appropriately control the Personal Information in such countries or regions.
  - (b) In addition to the case specified in the preceding paragraph, JF and Tobunken may provide the Personal Information acquired from the applicants to necessary organizations or individuals in Japan or other countries or regions for the Purposes of Use specified above as needed for the projects, only when the conditions stipulated in laws and regulations are satisfied.
- f. Security control of personal information

- JF and Tobunken shall endeavor to prevent unauthorized access and leakage of the Personal Information of the applicants by way of taking appropriate security control measures and control means.
- g. Rights pertaining to personal information of applicant  
The applicant has the right to access his/her Personal Information, correct inaccurate Personal Information, suspend the use of the Personal Information, etc., to the extent that the Act, the GDPR, the Chinese Laws and other laws pertaining to protection of the Personal Information in the relevant country or region apply.
  - h. Filing of objections against handling of personal information  
In the case where the applicant is dissatisfied with the handling of the Personal Information in JF and Tobunken, such applicant may state his/her objections to JF and Tobunken to the extent permitted by the applicable laws and regulations. In accordance with the applicable laws and regulations, the applicant may also file objections to the authority that has jurisdiction over protection of the Personal Information in the country to which the applicant belongs.
  - i. Personal information of persons involved in the project  
The Personal Information of persons involved in the project other than the applicant, which is submitted by the applicant to JF and Tobunken, shall also be handled in the same manner as stipulated in a. to h. above, and therefore, the applicants should provide explanations in advance to the persons involved in the project and obtain their consent.
  - j. Contact information  
Please use the contact details specified in "12. Contact" for any opinions, questions, etc. regarding any matters specified in this "Handling of personal information" section.
  - k. Revocation of consent  
The applicant has the right to revoke his/her consent to any matters specified in this "Handling of personal information" section at any time. The revocation of consent does not affect the legality of the handling of the Personal Information prior to the revocation. In addition, when the applicant does not provide his/her consent or revokes his/her consent, such applicant may not be able to receive necessary information and/or services from JF and Tobunken.
- (4) Response to the spread of Infectious Diseases  
Depending on the spread of infectious diseases, appropriate measures may be required when implementing a project in accordance with the regulations and instructions of the relevant authorities. Please understand that JF and Tobunken may unavoidably change the substance of its Fellowship or the conditions attached, or ask Fellows to modify their plan, including their original Fellowship commencement date, as a result of changes in circumstances that have occurred after the decision to provide the Fellowship.
- (5) Ensuring the necessary safety and security of projects  
Considering the recent instability in global security, with the increase of terrorist attacks in particular, JF and Tobunken highly recommend that you take the necessary security measures to ensure safety when you carry out your projects, including the following:
- a. Check and obtain security information about the area in which your project will be conducted to ensure the safe travel and accommodation.
  - b. Share information on security and safety issues with people concerned with your research project (if any).

## 12. CONTACT

For further inquiries, please email at [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) for the attention of:

JF-GJS Fellowship Program

The Japan Foundation Japanese Studies Department

1-6-4 Yotsuya, Tokyo 160-0004, Japan

## Instructions for Filling in the Application Forms

### \* General Instructions

- (1) The following list details the items required for an application for JF-GJS Fellowship Program:
  - a. **Application Form:** Applicants should fill out all required sections, sign their name, and email to [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) the data file(s) of the application documents.
  - b. **Two Recommendation Forms:** First, each applicant should fill in the upper box of the Form. Then each Recommender should fill out all the other required sections, sign their name, and email directly to [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) without going through the applicant.
- (2) **Please read the Application Instructions stated above and the following instructions carefully before submitting application materials.** If these instructions are not followed properly (e.g., forms without signature), the applicant may not be considered for a Fellowship.
- (3) Application forms should be filled out in Japanese or in English. Applications submitted in other languages will not be accepted.

### \* Application Form

#### 1. Application Summary

- (1) **Applicant Name, Title and Birthday:** Those who have names in Chinese characters should give their names both in Chinese characters and the Roman alphabet as shown in passport. Other candidates should write only in the Roman alphabet. Please give the year of birth by the Gregorian calendar.
- (2) **Nationality and Current Residing Country/Area:** List all nationalities applicants have. Residing Country/Area should be the one of applicants' home address, not the one of their temporary lodging. Please also check the appropriate box for whether you have permanent resident status in the residing country/area.
- (3) **Profession and Specialization:** Give the name of the institution with which the applicant is currently affiliated and the position there either in Japanese or in English. In addition, give the applicant's specialization.
- (4) **Beginning Date and Proposed Term of Fellowship:** The Fellowship must begin between September 1, 2025 and March 1, 2026 (otherwise, the applications may not be given due consideration). The proposed term of the Fellowship must be integer number of months between six and twenty-four.

#### 2. Applicant Information

- (1) **Current Home Address and Contact Information:** Give the full address of the applicant's current residence (not temporary lodging) and other contact information. Please promptly notify us of any change at [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) by email, so that the screening results can be announced at the proper time.
- (2) **Office Address and Contact Information:** Give the full address of the applicant's office and other information on their affiliation.
- (3) **Personal History:** Give information for Degrees, Educational Background, and Awards. For Work History and Awards, write down in reverse chronological order. In addition, attach a copy of your current CV/resume, if any.
- (4) **Information on Recommenders:** List the names and email addresses (or phone numbers) of recommenders. In addition, give the dates when the applicant requested their recommenders to fill out the Forms.
- (5) **Language Ability:** Check the box corresponding to the level of the applicant's Japanese-language proficiency and English-language proficiency.
- (6) **Applying for Other Fundings:** Applicants who are submitting requests to other fundings must list the names of the organizations, the requested terms, and the dates that awards will be announced. Indicate the results if already known.

(7) Previous Stays in Japan: If applicants have been in Japan on any grant/fellowship from JF, list each period of stay in Japan and the name of the program for all the visits (regardless of length of each stay). For Other Visits to Japan, indicate the period and purpose of each stay, and list any grants/fellowships received. (It is not necessary to indicate stopovers or short trips for sightseeing.)

**3. Project Information**

1. Field of Present Research and/or Related Keywords: Indicate the field(s) and/or related keywords that the applicant is targeting.
2. Summary of the Project: Summarize the proposed project (2-pages maximum) by: a) stating the research content, its purpose, and significance; b) describing the applicant’s research methodology and a research plan (including a timeline of concrete activities in Japan); and c) including the goals of the research project and the proposed method of dissemination. Give a specific reason for the need to stay in Japan instead of remaining in the applicant’s own country.
3. Mid- to Long-Term Goals in Research and Career: Describe applicants’ mid- to long-term goal in research and career.
4. Relevant Achievements: Give a brief bibliography (approximately 10 items), including the foundational works and publications on research relevant to the applying project.
5. Advantage of Doing the Proposed Research Activities at Tobunken: Describe the need and advantage of doing research at Tobunken (the affiliated institution in Japan).
6. Connection to Tobunken’s International Academic Exchange: Describe the contributions your proposed activities in Japan would make to Tobunken’s international academic exchange. If the applicant already has any concrete ideas for exchange activities in relation to their research in Japan, please also provide the details of the ideas.

**\* Recommendation Form**

- (1) Applicants should ask two individuals, who are willing and competent to judge the applicant’s ability to carry out their proposal. One should be filled out by their supervisor in their research project or by the head/superior of their affiliated institution. The other should be filled out by a recommender from an institution in Japan (excluding JF).
- (2) Applicants should first fill in the upper boxes outlined in bold lines, and then ask each recommender to email the signed Recommendation Form to JF Headquarters in Tokyo at [r\\_info@jpf.go.jp](mailto:r_info@jpf.go.jp) no later than December 1, 2024.